



陸軍省

参謀總長へ國務案

前題ノ件ニ付本月十八日附参謀第一七五號第一屆會ノ議決存ナレ

陸支機密第一四二號

昭和四年七月廿日

上 奏 案

獨立編成第一、第十五旅團臨時編成並第三十團次復員要領制定ノ件  
方施行ノ件

獨立編成第一、第十五旅團臨時編成並第三十團次復員要領制定ノ件  
允被編成候ニ付テハ別紙軍令案ノ遵之カ施行ヲ命セラレ被附テ奏  
ス

上 奏 案  
七月二十日  
陸軍省

陸獨立編成第一、第十五旅團臨時編成並第三十團次復員要領ヲ制定  
シ之カ施行ヲ命ス

御 名 御 意

陸軍

昭和十四年七月 日

陸軍大臣

軍令陸甲第 號

(別紙ノ通)

軍令陸甲第二十六號

陸軍省

獨立混成隊第一、第十五旅團臨時編成並第三十團次復員要領

細則規定ノ件

關係陸軍部取入進案

獨立混成隊第一、第十五旅團臨時編成並第三十團次復員要領細則別紙ノ通定ム

陸支機密第一四四號 昭和十四年七月二十二日

陸軍省



軍事機密

陸軍部文書第五三四

大本營  
陸軍部  
參謀第一七五號第一

獨立混成第二、第十五旅團臨時編成並第三十四次復員要領同  
細則起草ノ件照會

昭和拾四年七月拾八日

參謀總長 載仁 親

陸軍大臣 板垣征四郎 殿

首題ノ件別冊ノ通題案セシニ付異存ナクハ前者ニ在リテハ 允裁ヲ  
可仰後者ニ在リテハ令達方取計ハレ度照會ス



本協議用

極秘

七拾五部ノ内第 貳拾號

昭和十四年七月十一日  
參謀本部

獨立混成第一、第十五旅團編成並第三十次復員要領

臨時

0611

非

1611

獨立混成第一旅

1911

十一日

独混一旅十五旅團  
すみ

獨立混成第一、第十五旅團編成並第三十<sup>臨時</sup>次復員要領

第一條 本要領ハ獨立混成第一、第十五旅團編成並第三十<sup>臨時</sup>次復員ニ

關スル事項ヲ定ム

本要領中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ陸軍動員計畫令、動員部隊整理要領其ノ他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

第二條 本要領ニ據リ編成スル部隊ノ編制、編成管理官左ノ如シ

獨立混成第一旅團司令部				部	隊	隊數	編制	編成管理官
獨立混成第一旅團砲兵隊	獨立混成第一旅團工兵隊	獨立步兵第七十二乃至第七十六大隊	獨立混成第一旅團司令部	部	隊	一	附表第一	北支那方面軍司令部官
獨立混成第一旅團砲兵隊	獨立混成第一旅團工兵隊	獨立步兵第七十二乃至第七十六大隊	獨立混成第一旅團司令部	部	隊	一	附表第二	
獨立混成第一旅團砲兵隊	獨立混成第一旅團工兵隊	獨立步兵第七十二乃至第七十六大隊	獨立混成第一旅團司令部	部	隊	一	附表第三	
獨立混成第一旅團砲兵隊	獨立混成第一旅團工兵隊	獨立步兵第七十二乃至第七十六大隊	獨立混成第一旅團司令部	部	隊	一	附表第四	

備考	獨立混成旅團					
獨立歩兵大隊及獨立混成旅團砲兵隊ノ中隊ハ該隊毎ニ第一ヨリ一連ノ番號ヲ附スルモノトス	獨立混成第一旅團通信隊	一	附表第五	獨立混成第十五旅團司令部	一	附表第一
	獨立歩兵第七七乃至第八十一大隊	各一	附表第二	獨立混成第十五旅團砲兵隊	一	附表第三
	獨立混成第十五旅團工兵隊	一	附表第四	獨立混成第十五旅團通信隊	一	附表第五

第三條 編成管理官ハ本要領受領後左記各號ニ據リ成ルヘク連ニ前條

部隊ノ編成ヲ完結スルモノトス但シ作取上ノ必要等ニ依リ其ノ編成

著手時機ヲ一時延期スルコトヲ得

一 部隊編成ノ爲所要ノ人馬ハ獨立混成第一旅團ニ在リテハ第百九



師團及獨立機關銃第四大隊、獨立混成第十五旅團ニ在リテハ第四百十四師團及獨立機關銃第十六大隊ノ人馬並陸軍大臣ノ特ニ配屬スルモノヲ充用（當）シ其ノ充用區分ハ概ネ本條第二乃至第五號ニ據ル

二 獨立歩兵大隊ハ當該師團各歩兵聯隊ノ一大隊及獨立機關銃大隊

ヲ基幹トシテ編成シ且其ノ素質ヲ概ネ平等ナラシムルモノトス  
獨立歩兵大隊

三 砲兵隊ハ當該師團野（山）砲兵聯隊ノ二中隊ヲ基幹トシテ編成

獨立混成旅團

四 工兵隊ハ當該師團工兵聯隊ノ人馬ヲ以テ編成ス

獨立混成旅團

五 通信隊ハ當該師團通信隊ノ人馬ヲ以テ編成ス但シ人員ノ約半部

六 當分ノ内繼成部隊ノ定員（數）ヲ缺クコトヲ得

第四條 本要領ニ據リ復員スル部隊左ノ如シ

其一 第百九師團

第百十四師團

其二 獨立機關銃第四大隊

獨立機關銃第十大隊

第五條 前條其一ノ部隊ハ内地歸還ノ上復員スルモノトス

前條其二ノ部隊ハ第二條部隊ノ編成ニ伴ヒ現地ニ於テ復員スルモノ

トシ其ノ復員業務ハ北支那方面軍司令官之ヲ管理スルモノトス

第六條 編成（動員）管理官ハ豫メ編成完結豫定日ヲ又編成（復員）

完結七八遠ニ之ヲ陸軍大臣、參謀總長ニ報告シ且編成部隊ノ將校職  
員表、人馬一覽表竝編成（復員）完結日一覽表ヲ前諸官ニ呈出スル

モノトス

第七條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、參謀總長協議決

定ス

附 則

一 獨立混成第一、第十五旅團ハ臨時編成部隊トス

二 獨立機關銃第四、第十大隊ノ昭和十四年度動員計畫ハ之ヲ行ハサ

ルモノトス

三 陸軍大臣 第百十四回口頭報告後ノ昭和十四年度職員計數ハ各隊員

隊ノ一大隊、野(山)砲兵隊第二、第三大隊ノ各一中隊、工兵隊  
隊ノ一中隊、通信隊ノ半部ヲ缺クモトス

四 本編成實施ノ爲所要ノ人員ハ陸軍大臣ニ於テ編成着手前北支那方  
面軍司令部ニ定員外トシテ豫メ之ヲ配屬スルコトヲ得

附表第一

獨立混成旅團司令部編制表

階級	區分	人員	馬
少將		旅團長	一
中佐		參謀	一
少佐		副官	一
大尉		參謀	一
中尉		副官	一
中尉(少)		部附兵器掛	一
中尉		部附通信掛	一
中尉		部附通信掛	一
計			六
主計中(少)佐			一
主計尉官			一
主計下士官			三
軍醫中(少)佐			一
衛生下士官			一
獸醫少佐(大尉)			一
獸醫務下士官			一
技術准尉			一
銃工下士官			一
機工下士官			一
計			六
合計		二七	六

備考

(一) 本表、外旅團内諸部隊獸醫業務、爲獸醫尉官一名ヲ増加ス

(二) 本表、外所要、人員ヲ増加スルコトヲ得

(三) 書記、内一名ハ判任文官ヲ以テ充ツルコトヲ得

(四) 部附兵器掛、少佐ヲ以テ充ツルコトヲ得

(五) 本表、外暗號掛トシテ尉官一名、下士官二名ヲ増加ス

(六) 本表、外謀報業務、爲通譯生(通譯)五名ヲ増加ス

(七) 本表、外防疫給水業務、爲軍醫尉官一名、衛生下士官二名ヲ増加ス

(八) 本表、外軍醫少佐一名、軍醫尉官二名、衛生下士官五名、衛生兵十五名、自動車十名ヲ増加ス



獨立混成旅團砲兵隊編制表

階級	區分	本部				山砲中隊		野砲中隊		計	
		人員	乘馬	馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	
中少	中少	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大尉	大尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中尉	中尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
准尉	准尉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
軍曹	軍曹	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
軍士	軍士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上等兵	上等兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一等兵	一等兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
主計尉官	主計尉官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
主計下士官	主計下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
縫工下士官	縫工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
裁縫下士官	裁縫下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
軍醫尉官	軍醫尉官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
衛生下士官	衛生下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
衛生兵	衛生兵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
獸醫尉官	獸醫尉官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
獸醫下士官	獸醫下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大工下士官	大工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
靴工下士官	靴工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鍛工下士官	鍛工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
木工下士官	木工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
電工下士官	電工下士官	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

備考

(一) 第一中隊ハ山砲中隊、第二中隊ハ野砲中隊トス

(二) 本部軍曹、内一名ハ書記一名ハ炊事掛、分課トス

(三) 中隊軍曹、伍長、定員ハ二中隊ヲ合シ軍曹十九名、伍長七名トス

(四) 中隊中隊長、伍長、定員ハ二中隊ヲ合シ軍曹十九名、伍長七名トス

(五) 衛生兵、定員ハ衛生上等兵、同一三等兵各半數宛トス

(六) 當分、内本部中少尉ハ技術准尉ヲ以テ充ツルコトヲ得

(七) 技術下士官、内一名ハ技術准尉ヲ以テ充ツルコトヲ得

(八) 野砲中隊兵用馬匹ハ乘鞍馬ヲ兼用ス

(九) 本表、外所要ノ入馬ヲ増加スルコトヲ得







本協議用

極秘

七拾五部ノ内第 三三號

昭和十四年七月十一日  
參謀本部 第三三號

獨立混成第二、第十五旅團編成並第三十師次復員要領細則

臨時

1203

決行

獨立混成第一、第十五旅團編成並第三十<sup>年</sup>次復員要領細則

第一條 本細則ハ獨立混成第一、第十五旅團編成並第三十<sup>年</sup>次復員要

領以下要領  
ト略稱ス 實施ニ關スル細部ノ事項ヲ定ム

本細則中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ陸軍動員計畫令細則、動員  
部隊整理要領細則 以下<sup>シ</sup>整細  
ト略稱ス 其ノ他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

第二條 要領第三條ニ據リ陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員附表第一ノ如

シ

第三條 要領第三條ニ據リ充用スヘキ復員部隊ノ人員ハ成ルヘク新年

次若ハ服<sup>務</sup>役(應召)期間短キ者ヲ充ツルモノトス

第四條 各部隊特(分)業者及工務兵ノ定員ハ附表第二ノ如シ

第五條 編成部隊ハ令達豫算ノ範圍内ニ於テ自動車ノ運轉、行李其ノ

他兵器、器具、材料等ノ運搬等ノ爲所要ノ人馬ヲ徵傭スルコトヲ得

第六條 要領第四條其二ノ復員部隊人員中編成部隊ニ充用シタル殘餘

ノ人員ハ北支那方面軍司令官ニ於テ所要ノ引率者ヲ附シ成ルヘク速

ニ各當該動員擔任部隊ニ歸還セザルモノトス

前項動員擔任部隊ノ所管長官ハ整細ノ召集解除ニ關スル規定ヲ準用  
シ歸還後成ルヘク速ニ之カ召集ヲ解除スルモノトス

第七條 要領第五條第一項及前條ニ申リ歸還セル人員ハ復員地又ハ歸

還地到着後速ニ「マラリア」原蟲保有者ノ檢出ヲ實施シ之カ陽性者

及陰性ナルモ本病既往症ヲ有シ必要ト認ムルモノニ對シテハ動員擔

任部隊ニ於テ後療法ヲ實施シ其ノ成績陰性ナルカ若ハ後療法ノ必要



四年度陸軍動員計畫令細則附錄(イ)第五百五十六表 鐵帽防毒面(甲)ヲ  
加へ季節外ノモノ、

軍靴一組 ニ準シ之ヲ整備シ爾後必要ニ應シ北支那方面軍司令官其ノ  
ヲ除ク

隸下補給諸廠ヨリ補給スルモノトス

第十二條 編成部隊ノ公用行李、給養器具ノ定數附表第六、第七ノ如  
シ

第十三條 編成部隊ノ衛生材料、獸醫材料ノ定數ハ附表第八、第九ノ  
如シ

第十四條 戰時諸條規、諸勤務令ノ携行區分ハ附表第十ノ如シ

第十五條 編成部隊下士官以下ノ個人裝備用戰用諸品 被服ニ在リテハ  
第十一條但暫ノ

著裝品  
ニ限ル  
ハ復員部隊ノモノヲ以テ完備スルモノトス

第十六條 前諸條ニ示ス編成部ニ所要ノ部隊裝備用取用諸品ハ先ツ復

員部隊ノモノヲ充當シ其ノ不足ハ編成管理官兼下補給諸廠保管ノモ

ノヲ充當スルモノトシ當分ノ内其ノ一部ヲ缺キ若ハ代用品鹵獲品ヲ含ムヲ

以テ充當スルコトヲ得

前項ニ據ルモ尙不足スル兵器兵器廠ヨリ逐次交付ス之カ爲編

成管理官ハ速ニ品目、員數ヲ陸軍大臣ニ報告スルト共ニ陸軍兵器廠

長ニ請求スルモノトス

第十七條 要領第四條其二ノ復員部隊ノ取用諸品中前項ニ據リ編成部

隊ニ充當シタル殘餘ハ之ヲ編成管理官兼下ノ補給諸廠ニ引繼クモノ

トス

第十八條 編成部隊ノ認識票文字刻入區分ハ附表第十一ニ據ルモノトス

第十九條 編成部隊ノ留守業務擔任區分附表第十二ノ如シ

第二十條 要領第六條ニ據リ呈出スル人員一覽表ハ下士官、兵ニ在リテハ役種、徵集年次ニ區分シ將校職員表ハ陸軍大臣ニハ三通ヲ呈出スルモノトス

要領第六條ニ據ルノ外編成管理官ハ將校職員表及人馬一覽表ヲ留守業務擔任師團長ニ送付スルモノトス

第二十一條 編成ニ伴フ輸送ニ關シテハ昭和十二年陸支密第一五六二號ノ規定ヲ準用スルモノトス

附 則

要領實施ニ要スル經費ハ臨時軍事費支辨トス



附表第一

<p>被 編 屬 部 隊</p> <p>陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員ヲ 詳見表</p>	<p>被 編 屬 人 員</p>	<p>差 出 區 分</p>
<p>獨立混成旅團第十五 旅團司令部</p>	<p>旅團長 少將 林一 參謀 中佐 佐々木 中佐 佐々木</p>	<p>別ニ示ス</p>
<p>備考 被編屬人員ハ被編屬部隊ノ人員ヲ示ス</p>		

(参考) 陸軍少佐(正) 一八編隊長 理由ニ於テ部附ノ長(正)ニテハアノ先ツルニトシ得



復員馬匹轉屬區分表

被轉屬部隊	差出部隊		第百九師團		第百十四師團		計	
	乘馬	駄馬	乘馬	駄馬	乘馬	駄馬	乘馬	駄馬
近衛師團	二〇		二〇		五二〇		二二五	一三五
留守第一師團	二〇		二〇		六〇		六五	八五
留守第四師團	二〇		二〇		六〇		六五	八五
留守第八師團	二〇		二〇		六〇		六五	八五
留守第十二師團	二〇		二〇		六〇		六五	八五
留守第十六師團	二〇		二〇		六〇		六五	八五
關東軍司令部		五〇〇		五〇		一〇〇		一〇〇
北支那方面軍司令部		一五〇		一〇		一〇		一七〇
計	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)	(一六六〇)

備

一 本表中 右列内ノ馬數ハ支那馬ヲ示ス  
 二 内地ノ携行スヘキ馬匹ハ資格優良ナル健康馬ヨリ充當スルモノトシ内地留置師團轉屬  
 馳馬ハ砲兵馳馬トス又生産供用見込ノ優良牝馬ハ留置部隊携行馬匹中ニ含マシ  
 ムルモノトス

三 本表轉屬馬匹ノ授受地ハ内地留置師團ノモノハ揚陸地トシ關東軍司令部未付馬  
 北支那方面軍司令部前項ニ依リ轉屬馬匹ノ交付豫定日時ヲ速ニ被轉屬軍司令部  
 (留置師團長)ニ通達スルモノトス

四 前號馬匹轉屬後ノ處理ニ關シテハ左記ニ據ルモノトス  
 八 内地留置師團轉屬馬匹 當該師團野砲兵聯隊(同補充隊)(留守隊)ノ定數外  
 トシテ數蓄スルモノトシ之カ充用ニ關シテハ別ニ指示ス

九 關東軍司令部轉屬馬匹 日本馬及支那馬ノ一部ヲ假定數外馬トシテ各部隊  
 ニ充當シ殘部ヲ關東軍 豫備馬貸付規定ニ依リ處理スルモノトス

三 北支那方面軍司令部轉屬馬匹 七月六日附陸支隊第ニ四四號ニ依リ馬匹ニ充當  
 シ殘餘ニ主トシテ臨時編成部隊缺數補填馬ニ充當スルモノトス

五 馬匹被轉屬軍司令部官(留置師團長)ハ受領馬匹ノ差出師團別用役別馬數  
 (關東軍、北支那方面軍司令部官ニ在リテハ配屬(貸付)(補填)部隊別用役別馬數  
 共)ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

考

# 説明ターゲット

次の原稿破損

8 年 7 月 4 日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 

アジア歴史資料センター

附表第四

第九師團增加配屬人馬兵器表

部隊	人員		馬		兵器
	兵	員	乘馬	駄馬	
步兵聯隊	各	步兵四〇〇 衛兵二四		一〇	
山砲兵聯隊	一〇〇			七〇	
工兵聯隊	二〇〇				
輜重兵聯隊	五〇		二〇	一五〇	

昭和十三年陸支機密第廿一  
十號ニ據ル自動車中隊  
用ノ兵器及同第  
四〇八號ニ據ル増加配  
屬セル未詳資材

備考  
 (一) 本表、外本表部隊ニ昭和十四年度陸軍動員計畫令第  
 十三條ニテ、  
 (二) 前號ノ人員  
 (三) 本表人員ニ要スル被服ニ関シテハ別ニ示ス

考  
 (一) 前號ノ人員  
 (二) 役種、職官氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス  
 (三) 本表人員ニ要スル被服ニ関シテハ別ニ示ス

附表第五 其一

諸部隊兵器表

品名	数量	備考
三十二年式軍刀乙	一	
三十年式銃剣	三	
三八式新銃	一	
三八式携帶煉筒品	一	
三八式銃實包	三〇〇	
將校乘馬具	六	
機工具携行自動車工具	三	
獨立混成旅団司令部器材	一	
乗用車	二	
自動車貨車	一六	
四輪起動小型乗用車	一	
例車	二	
機重十五噸用器具	二	

備

考

一本表中(一)内ハ豫備ヲ示ス  
 二獨立混成旅団司令部器材ノ定数ハ附表第三其一篇表ニ據ルモノ  
 トス  
 三四輪起動小型乗用車及側車ハ乗用車ヲ以テ代用  
 云ルヲ得

諸部隊兵器表

品目	獨立步兵大隊			
	大隊本部	一中隊	豫備	大隊(四中隊)計
三十二年式軍刀乙	六	二	二	一六
三十年式銃劍	九	二	七六	一三七
三八式步兵銃			七四	八一〇
三八式携帶豫備品				七二
十四年式拳銃	六	二四		一〇二
八九式重擲彈筒		八		三
十一年式輕機関銃		六	四	一〇
空包銃身		六		二四
三脚架乙		六		二四
十二年式銃銃身			二四	二四
整機関銃		六六		二六四
彈匣		二四		九六
彈匣		二六		一〇四
九二式重機関銃		二		八
高射用具		二		八
空包銃身		二		八
甲器具箱組		一		四
甲彈藥箱組		六		二四
九二式步兵砲	二			二
彈藥車	二			二
彈藥箱	二〇			二〇
他車	二			二
器具箱組	二			二
彈藥箱組	八			八
擬製表尺	三			三
實包銃彈子		三八一九〇		一五二七六〇
抽彈子銃匣共	八〇〇〇			八〇〇〇
九二式重機関銃		一一六一〇		四六四〇

具	工	織	四一式山砲用繫馬具	操縦用		大	刺	九三式野戰輕測速機	九三式五十種觀測鏡	九三式砲隊鏡	八九式雙眼鏡	四一式山砲	九二式步兵砲馳馬具	二八式機關銃	三十年式乘馬具	將枝乘馬具	八九式重砲	九一式曳火手榴彈	四一式	十四年式拳銃實包	九二式重榴	九二式重榴		目	部	隊	
				九二式	九二式																	九二式	九二式				
輜重車工具	鞍工具	銃工具	銃工具	一	一六	一	一	二	三	二	二	二	六		四							七二〇	一六	一六	大隊本部	獨立	大隊
				二〇	一六		四	一	七						五							七六八	一三五〇	一六	一中隊	步兵	大隊
				一	一六										二							三二六四	七二〇	一六	大隊(四中隊)計	大隊	大隊
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				二〇	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二							六〇〇	七二〇	一六			
				一	一六										二												





諸部隊兵器表

品目	独立混成旅団砲兵隊		備一隊(山砲隊)	計
	大隊本部	山砲一中隊		
三十二年式軍刀乙	五	二	一	一〇
三十年式銃剣	一四	一九四	三八	四二二
三十八式騎銃	一〇	四〇	九	九八
三十八式携帶豫備品	一	四	四	九五
十四年式拳銃	五	一八	四	二七
十年式擲彈筒	一			一
十一年式輕機関銃	二			二
空包銃	二			二
砲車	四	四		八
彈藥箱組		四		四
器具箱組		四		四
第一号至第四号 豫備品 第五号第六号 豫備品	一	一		二
携行豫備品		一		一
機関眼鏡		六		六
改造三十八式野砲			四	四
彈藥車			六	六
豫備品車			一	一
機関眼鏡			六	六
輕觀測車			一	一
輕觀測隊箱			一	一
輕觀測隊箱			一	一
三十八式銃實包	三一八〇	一、二〇〇	一、二〇〇	五、五八〇
十四年式拳銃實包	一六〇	五七六	五七六	一、三一二
九四式山砲		三〇〇		三〇〇
改造三十八式野砲			五〇八	五〇八









附表第五屬表其一

獨立混成旅団司令部器材定数表

品名	目頁	数	摘要
九四式三號甲無線機		一	当分の内三号乙無線機ヲ以テ代用スルコトヲ得







考	備	材													寫具	墨材	警備	原材	説明
		懷中時計	二號方取鏡	一號方取鏡	七號袋	五號袋	三號袋	二號袋	一號袋	二號隔板	一號隔板	器具 鏡除敷	小油入	長崎造網					
	本表各材八下別式記号で代用スルコトヲ得	一	五	一	一六	三	五	七	二	二	四	一	一八	一	一	四	一	一	二八

富士製菓大塚製菓



考 備	材 器 雜					寫 具		警 備		廠 明 器			品 目	員 數	備 考
	工	二	一	器	長	寫	携	小	九	一	乃				
<p style="writing-mode: vertical-rl;">本表器材八不制式品中以千代用スルコトヲ得</p>	號	號	號	具	荷	真	音	二	二	號	二	式	携	六	
	隔	隔	隔	鐘	造	引	響	一	八	電	式	微	電	二	
	杖	杖	板	除	網	伸	報	一	燈	燈	燈	燈	燈		
	一	二	二	下		具	機	一							
	組			敷											

備 考



通信器材														通信器材																		
水作器材	器材	機力	材	器	信	通	品	目	員	数	摘	要	品	目	員	数	摘	要														
九三式手動揚水機	九三式二馬力空変圧縮機	九二式一キロ發電機	九二式五キロ發電機	九六式信号桿	字号布板	携帶伝声筒	信号燈	單旗	手旗	九二式携帶回光機	電話器具箱	小乾電池	油差	百ゾオルト絶縁計	懐中電圧電流計	精密電圧電流計	携帶權衡器	小草胴乱	小草胴乱	九二式延線器	九三式輕線卷匡	九二式小線卷匡	九二式小線車	線出線掛	呼子笛	小絡車	九二式小絡車	九二式小絡車	九三式輕被覆線	九三式輕被覆線	九二式小被覆線	六回線用轉換器
一	一	一	一	二	三	五	四	一	一	二	三	四	二	一	二	一	一	五	四	二	二	二	一	三	四	一	二	四	八	一	一	

土工器材				測量器材														品目	員数	摘要												
短柄十字鍬	十字鍬	短柄圓匙	携帶圓匙	圓匙	九三式夜光步度計	九三式測高計	製圖器具	圓規測量具	小測板測量具	九三式測距機	手持實體鏡	計算尺	一米折尺	二十米卷尺	十米卷尺	九三式角放鏡眼鏡	垂球	水準標尺	九三式線公標尺	持續標柱	標柱	測板脚	中測板	九三式夜光羅針	測斜水準器	眼鏡水準儀	携帶測角器	潛望測量機	九三式望遠測角器	八種經緯儀		
六	四四	一二	一四五	五〇	六	一	二組	一三組	四組	六	六	三	二五	一〇	六	八	四	一	二	二	一〇	二	二	三〇	六	一	一二	一	五	二		

測量器材圖三兵隊發給一

木工器材				土工器材																										
鉋	手	斧	斧	大石	小石	九三式手動通風機	九三式電動通風機	托架式動力鑿岩機	手持式動力鑿岩機	短柄鋤	鋤	短三木	中三木	長三木	石	鋤	石	膝	頭	短柄土	長柄土	土	小	大	經	一	短	長	小片	鑿
鉋附	斧附	斧附	斧附	具	具	機	機	機	機	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	被	被	巾	押	押	搥	搥	鏈	繩	車	拖	拖	嘴	嘴
一六	一六	一二	一六	一組	一組	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	六組	六組	一	二	六	二	二	二	二	五	二	三	二	二四

明治三十四年



鍛工器材								木工器材																						
小圓	刃打	入鉗	五匙	小圓	中平	三十四	携行	九三式	船木	木工	木工	木工	小	十五	六分	八分	寸一分	小通	經付	釘	小	大	取	三式	圓	尺	小	中	錄	鉸
台	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	床	輔	機	工具	修理具	小道具	常具	砥	迴	錐	錐	錐	刀	技	尾	尾	尾	機	機	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸
一	二	一	一	一	一	一	一	一	二	大	大	一	二	一	三	一	五	六	八	二	四	四	一	一	一	三	一	四	一	六

獨工器成表圖三五號

印刷機		寫真機		警備機		照明器材										鍛工器材															
印	刷	寫	真	携	帶	九	九	九	一	カ	大	九	九	塗	補	鍛	鍛	動	三	九	カ	掃	一	鍛	遊	大	角	小	中	機	小
機	機	具	具	機	機	燈	燈	燈	燈	箱	燈	燈	燈	機	機	具	具	機	器	機	機	籠	籠	規	尺	整	庄	庄	庄	台	庄
二	一	一	一	二	二	二	二	三	五	二	二	一	二	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一

獨立式水車

材															器										雜							
一	一	八	七	五	四	三	二	一	四	二	四	一	二	一	器	器	器	掃	布	小	小	大	油	一	二	一	短	長	矢	下		
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	具	具	具	除	除	油	油	油	油	油	油	油	造	造	立	手		
形	形	袋	袋	袋	袋	袋	袋	袋	箱	布	帽	帽	板	板	蓋	蓋	箱	毛	缺	差	入	入	罐	銃	斗	斗	網	網	立	簿		
九	九	二	八	二	六	一	四	四	五	一	七	三	四	二	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六	一	一	一	一	

獨立混成帝國工業器材五





器材	通信	
聴	豫	持續電波発振機
音	習	
器	器	
三 八	三 〇	三

考 備	材 器 雜							照 明	鍛 工	木 工	土 工	測 量	品 目	員 数	備 考	
	懷 中	二 號	一 號	三 號	二 號	一 號	小 油	長 荷	隱 顯	三 坊	小 山	小 鋸				小 十 字
<p>本表へ不制式品等代用スルコトヲ得</p>	計	罐	罐	袋	袋	袋	入	網	附	附	鋸	鋸	鋸	針		
	一	三	一	四	二	三	二	三	一	二	一	九	一	一	九	
	八	〇	八	四	〇	六	二	〇	八	九	六	八	八	九	九	

獨立完成品等代用スルコトヲ得

附表第五 屬表其六

獨立混成旅団工兵隊爆破用火薬火具定数表

品名	目員	数
方形 黄色 薬		四八〇
円形 黄色 薬		一一二〇
白金線 信管		一四〇
十年式 爆破用雷管		七〇〇
導火索 火管		六〇〇
緩燃 導火索	丙	一六條
爆発 罐		八八
導火 管	乙	一三條
九三式 戦車地雷		一五〇
九三式 小火焰發射機用火管		二〇〇
備考	<p>十年式 爆破用雷管 六條 爆破用雷管 三九條 計 四五條 得</p> <p>十年式 緩燃導火索及導火管 各一條 長 廿八・一五米 トス</p>	





給養器具定数表

備考	獨立混成旅團					部 隊 品 目
	通信隊	工兵隊	砲兵隊	歩兵大隊	旅團司令部	
一本定数ハ一隊ニ対スルモノトス	一	一	二	四	一	九七式布漚水器
	一	一	二	四	一	九七式漚水車
					六	野戰炊具

附表第八

衛生材料定數表

部 品 目	獨立混成旅團司令部					獨立步兵大隊			獨立混成旅團砲兵隊			獨立混成旅團工兵隊			獨立混成旅團通信隊		
	隊醫校 二三號	一	一	二	二	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
擔架 具	一	一	二	八	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一
軍醫携 帶藥 具	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定	軍定
醫藥 具	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定
繃帶 具	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定	衛生員 定
隊醫 具	一	一	二	二	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一
瓦斯 治療 藥具	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙
九合 衛生 水機	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

考 備

一本表ノ外將校以下各人一箇宛繃帶包並除毒包ヲ携帶スルモノトス

二本表ノ外各部隊司令部下官兵ノ背囊ニ兵比副木四枚三角巾一〇枚ヲ入組セシメトス

三本表ノ外獨立混成旅團司令部ニ患者自動車五輛及九合衛生濾水機乙(車輛ヲ除ク)

三組ヲ增加スルモノトス

附表第九

獸醫材料定數表

考	備	部隊					品目
		獨立混成旅團通信隊	獨立混成旅團工兵隊	獨立混成旅團砲兵隊	獨立歩兵大隊	獨立混成旅團司令部	
コトヲ得	部隊配置，關係上特ニ必要ナル材料ハ所屬軍司令官之ヲ増加スル			—			獸醫板 具
				—	—	—	行甲獸醫 具 李
				—	—	—	行乙獸醫 具 李
		シ同ニ員入ノ校將部獸醫					獸醫藥 具
		シ同ニ員入ノ官士下部獸醫					馬藥 具
				—	—	—	鐵野戰蹄 具
		シ同ニ員入ノ兵工鐵蹄					鐵携帶蹄 具
				—	—	—	區化 行兵獸 具 李
		シ同ニ員入ノ校將部獸醫					藥 具 甲 症
		シ同ニ員入ノ官士下部獸醫					藥 具 乙 症

附表第十

戰時諸條規、諸勤務令推行區分表

種類	部隊	獨立混成旅團司令部	獨立步兵大隊	獨立混成旅團砲兵隊	獨立混成旅團工兵隊	獨立混成旅團通信隊
陸軍勤務員計畫及編則		-				
戰用諸品除却定數表		-				
戰時高等司令部勤務令		-				
通信隊勤務令		-				=
電信隊勤務令		-				=
輜重隊勤務令		-				
戰時天谷部勤務令		-				
戰時經理部勤務令		-				
戰時衛生勤務令		-				
戰時獸醫部勤務令		-				
戰時補充令		-				
戰時野戰藥庫補給令		-				
軍醫戰郵便勤務令		-				
軍兵站勤務令		-				
兵站輸送部勤務令		-				
自動車隊勤務令		-				
野戰砲兵隊勤務令		-				
野戰工兵隊勤務令		-				
野戰自動車隊勤務令		-				
野戰衣糧隊勤務令		-				
鐵道輸送部勤務令		-				
野戰鳩隊勤務令		-				
獨立守備隊勤務令		-				
支那駐屯軍勤務令		-				
陸軍平時編制		-				

備

一 本表、推行區分、各一部隊ニ對スル區分トス

二 本表、右部隊ハ必要ニ應ジ陸軍成規類取、陸軍電  
信符號及戰時必要ナル諸條規ヲ推行スルニトス

五 本表、推行區分ハ北支那方面軍司令部官ニ於テ適宜

考

一 本表ニ示スルコトヲ得

二 本表ニ示スル名稱ニテ勤務令ノ制定ニ依リ其ノ名稱ニ差違ヲ  
生ズトキハ新勤務令ノ名稱ニ依リトス

三 本表勤務令中陸軍戰時編制ノ改正ニ伴ヒ制定セラルルハ  
之ハ之ヲ別(改)ノ途ニ依リ其ノ名稱ニ差違ヲ  
生ズルニトス

附表第十一

認識西文字刻入區分	
部	隊
獨立混成第何旅團司令部	獨立混成第何旅團砲兵隊
獨立步兵第何大隊	獨立混成第何旅團砲兵隊
獨立混成第何旅團工兵隊	獨立混成第何旅團砲兵隊
獨立混成第何旅團通信隊	獨立混成第何旅團砲兵隊
刻入文字	刻入文字
獨混何司	獨混何砲
獨步何	獨混何工
獨混何通	獨混何通

附表第十二

留守業務擔任區分表

部	隊	留守業務擔任部隊
獨立混成第一旅團	第九師團	
獨立混成第十五旅團	留守第十四師團	